

第6回日本WHO協会定期健康セミナーのご案内

日時：平成22年5月8日(土) 17:00~18:30

場所：大阪市立大学 医学部学舎4F

「小講義室1」TEL06-6645-3605

当日学舎正面玄関閉鎖につき地下1階玄関(通用口)からお入り下さい!

大阪市阿倍野区旭町1-4-3 「天王寺駅」西へ徒歩5分

テーマ：「**疲労の科学と疲労克服**」

講師：**渡辺 恭良 先生**

定員：先着50名 会費：無料

主催：社団法人日本WHO協会

後援(予定)：(社)生産技術振興協会、大阪商工会議所



・地下鉄御堂筋線・谷町線「天王寺」駅②③出口
・JR環状線・阪和線・大和路線「天王寺」駅
・近鉄南大阪線「あべの橋」駅
西へ徒歩5分

< 講師ご紹介 >

1980年 京都大学大学院医学研究科修了

1987年 (財)大阪バイオサイエンス研究所・研究部長

1999年~ 大阪市立大学大学院医学研究科分子細胞生理学講座教授

理科学研究所分子イメージング科学研究センターセンター長を兼任

専門 神経科学、脳機能イメージング、分子イメージング

~ 先生がリーダーをつとめられる21世紀COEプログラムの疲労克服研究教育の拠点形成概要 ~

< (独)日本学術振興会のホームページより >

都市生活に立脚した現代ストレス社会は疲労に満ちている。疲労は様々な病気の前兆かつ万病の元(未病概念)であり、予知医療の中核として極めて注目される。また、疲労克服については、その経済的価値も高い。本格的な「疲労の科学」は本拠点リーダーが班長を勤める文部科学省科学技術振興調整費：「疲労および疲労感の分子・神経メカニズムとその防御に関する研究」(平成11-16年度)が世界初であり、医学・医療のベースとなる革新的学術分野と位置づけられる。大阪市立大学はこの疲労研究班の中核として、疲労の分子神経機構の解明、疲労度の客観的評価法の確立を行い、疲労国際会議を主催するなど世界の疲労研究をリードしてきた。本研究教育拠点は、大都市・大阪を母体とした大阪市立大学を「疲労の科学」の拠点とすべく、国際疲労研究センター、疲労クリニック、抗疲労食薬開発センターを設立し、国内外の俊英を集めて研究教育を行い、世界最高水準の国際的な基地として「疲労克服研究教育拠点」の形成を目指す。

(参加ご希望の方はファックス 06-6944-1136 等でご連絡ください。)

ご芳名

ご住所

Tel

Fax

Mail